

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月12日

上場会社名 旭松食品株式会社

上場取引所 大

コード番号 2911 URL <http://www.asahimatsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 博隆

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 足立 恵

TEL 06-6306-4121

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	8,304	0.1	△252	—	△269	—	△307	—
21年3月期第2四半期	8,299	—	△546	—	△540	—	△1,937	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△33.58	—
21年3月期第2四半期	△211.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	15,462	9,307	60.0	1,011.82
21年3月期	16,180	9,634	59.3	1,047.46

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 9,272百万円 21年3月期 9,601百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	△0.2	80	—	80	—	20	—	2.18

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 9,382,943株 21年3月期 9,382,943株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 218,801株 21年3月期 216,307株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 9,165,258株 21年3月期第2四半期 9,170,636株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 上記の前提条件その他の関連する事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、83億4百万円（前年同期比0.1%増）となりました。部門別には、納豆部門において市場の縮小が継続しており供給過剰となっております。また、業界内の企業間競争は生き残りをかけた熾烈な戦いを強いられており、販売価格の是正も実現できていないことから、売上高は25億9千万円（前年同期比8.3%減）と大きく減少いたしました。なお、凍豆腐部門では前年同四半期連結累計期間は価格改定直後の買い控えがありましたが、当第2四半期連結累計期間は順調に推移したことから、売上高は22億5百万円（前年同期比4.0%増）と伸長いたしました。加工食品部門においてはカップ入りタイプの春雨スープなどを中心に売上を伸ばし、売上高は25億2千6百万円（前年同期比9.0%増）と大きく増加いたしました。

利益面では、前第2四半期連結累計期間に異常な高騰となった原材料等の市場価格は落ち着きましたが、依然高い水準で推移しており、かつ、期初には高値で購入した在庫分の使用もあり、売上原価の大きな低減にはいたりませんでした。また、固定費については継続的に圧縮に努めました結果、営業損失2億5千2百万円（前年同期は5億4千6百万円の損失）、経常損失2億6千9百万円（前年同期は5億4千万円の損失）となりました。なお前第2四半期連結累計期間には特別利益として保有有価証券の売却益を計上し、特別損失として有形固定資産の減損損失を計上いたしました。当第2四半期連結累計期間には特殊な損益計上はなく、四半期純損失は3億7百万円（前年同期は19億3千7百万円の損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

純資産が93億7百万円（前連結会計年度末に比べ3億2千7百万円の減少）となり、総資産が154億6千2百万円（前連結会計年度末に比べ7億1千8百万円の減少）となったため、自己資本比率は60.0%（前連結会計年度末に比べ0.7ポイントの増加）となりました。総資産の減少の主な要因は、受取手形及び売掛金の減少が3億5百万円、固定資産の減価償却費を4億6千6百万円計上したことなどによるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の増加は、3億2千7百万円であります。

資金の増加の主な要因は、税金等調整前四半期純損失2億7千5百万円があったものの、減価償却費4億6千6百万円や売上債権の減少が3億8百万円あったことによるものです。

また、前第2四半期連結累計期間に比べ資金の流出額が7億7百万円減少しております。この主な要因は、売上債権の増減差額2億6千2百万円、たな卸資産の増減差額2億8千3百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、1億4千1百万円であります。

資金の減少の主な要因は、有形固定資産の取得による支出1億2百万円や、システム投資を中心とした無形固定資産の取得による支出4千1百万円によるものです。

また、前第2四半期連結累計期間に比べ資金の流出が3億3千9百万円減少しております。この主な要因は、前第2四半期連結累計期間には投資有価証券の売却による収入3億1千1百万円がありましたものの、当第2四半期連結累計期間は設備投資の抑制により有形固定資産の取得による支出が6億5千5百万円減少したことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、2億3千5百万円であります。

資金の減少の主な要因は、長期借入金の約定弁済1億9千3百万円やリース債務の返済による支出5千5百万円によるものです。

また、前第2四半期連結累計期間に比べ資金の流出が4億3百万円増加しております。この主な要因は、前第2四半期連結累計期間にて短期借入金での調達による収入が5億4千万円あったものが当第2四半期連結累計期間においてはなかったことなどによるものです。

以上により当第2四半期連結会計期間末における資金は前連結会計年度末に比べ4千9百万円減少し、11億8百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、現時点においては平成21年5月14日に公表いたしました平成22年3月期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

原価差異の配賦方法

予定原価等を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異のたな卸資産と売上原価への配賦を年度決算と比較して簡便的に行っております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度末時点で2期連続の営業損失を計上しており、当第2四半期連結累計期間においても営業損失となっているため、継続企業の前提に関する重要事象等が存在しております。この存在を解消すべく、引き続き以下の取り組みを行っております。

なお、文中における将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間末において当社グループが判断したものであります。

①原材料高騰への対応

原材料等の高騰による製造費用の増大により、当社グループの業績は大きな影響を受けました。このため、原材料の調達については、安心・安全を踏まえた上で安価購入の対応を進めております。

また、単品損益管理を一層充実し、不採算製品の改廃スピードを向上させております。

②コスト削減

固定費の削減として製造工場での勤務形態の変更により時間外労働を圧縮し、労務費の抑制を図っております。

また、役員報酬や執行役員・幹部社員の報酬・給与の減額は継続とし、広告宣伝費・旅費交通費などの販売費及び一般管理費は一層の圧縮を図っております。

③不採算部門の撤退

当社グループの主力部門は、凍豆腐、加工食品、納豆であります。新たな柱として新規の部門へも投資を行ってまいりました。当連結会計年度は短期的な利益の創出が困難なものにつきましては撤退又は一時、投資を凍結し既存部門への集中投資を行っております。

④経営体制の刷新

上記の事業再生をスピーディに行うため本年4月1日に機構改革及び人事異動を行いました。

また、6月末には取締役の員数も減員しており、シンプルかつスピーディな経営活動を目指し業績の向上に努めております。

⑤設備投資計画及び資金計画

当連結会計年度の設備投資計画につきましては大幅に抑制し、キャッシュ・フロー面での向上も併せて行っております。その結果、新たな資金調達は行わず既存借入等の約定弁済を進め財務体質の強化を図っております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,214,321	1,263,834
受取手形及び売掛金	2,979,630	3,285,136
たな卸資産	1,335,681	1,416,911
繰延税金資産	6,740	8,668
その他	149,878	214,254
貸倒引当金	△200	△300
流動資産合計	5,686,052	6,188,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,313,960	8,301,227
減価償却累計額	△5,403,199	△5,295,999
建物及び構築物 (純額)	2,910,761	3,005,227
機械装置及び運搬具	12,561,956	12,823,335
減価償却累計額	△10,732,678	△10,582,792
機械装置及び運搬具 (純額)	1,829,277	2,240,543
土地	3,312,449	3,312,449
リース資産	536,097	232,797
減価償却累計額	△138,240	△89,426
リース資産 (純額)	397,857	143,371
建設仮勘定	22,728	7,091
その他	515,878	504,047
減価償却累計額	△424,712	△415,188
その他 (純額)	91,165	88,858
有形固定資産合計	8,564,240	8,797,541
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	653,362	627,437
長期貸付金	19,954	20,000
その他	98,847	97,295
投資その他の資産合計	772,163	744,732
固定資産合計	9,769,746	9,983,732
繰延資産		
開業費	6,924	8,683
繰延資産合計	6,924	8,683
資産合計	15,462,723	16,180,921

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,349,382	1,531,365
短期借入金	923,428	1,629,932
リース債務	155,891	85,708
未払金	1,013,173	1,190,489
未払法人税等	37,771	26,504
繰延税金負債	—	4,473
賞与引当金	116,860	60,034
設備関係支払手形	51,591	51,038
その他	265,062	182,783
流動負債合計	3,913,161	4,762,328
固定負債		
長期借入金	1,143,239	870,199
リース債務	240,839	62,688
繰延税金負債	216,438	208,698
退職給付引当金	631,897	632,568
その他	9,750	9,750
固定負債合計	2,242,164	1,783,904
負債合計	6,155,326	6,546,233
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	5,969,572	6,323,130
自己株式	△125,340	△124,149
株主資本合計	9,094,499	9,449,248
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	163,751	147,417
繰延ヘッジ損益	△3,651	6,600
為替換算調整勘定	17,839	△1,572
評価・換算差額等合計	177,939	152,445
少数株主持分	34,959	32,993
純資産合計	9,307,397	9,634,687
負債純資産合計	15,462,723	16,180,921

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	8,299,931	8,304,618
売上原価	6,702,369	6,528,955
売上総利益	1,597,561	1,775,662
販売費及び一般管理費	2,144,450	2,028,373
営業損失(△)	△546,888	△252,710
営業外収益		
受取利息	1,460	641
受取配当金	9,077	5,454
受取賃貸料	1,484	1,294
受取技術料	2,965	2,212
為替差益	—	2,345
雑収入	7,450	13,957
営業外収益合計	22,437	25,906
営業外費用		
支払利息	14,834	18,364
為替差損	669	—
支払手数料	—	6,400
和解金	—	17,000
雑損失	403	499
営業外費用合計	15,908	42,263
経常損失(△)	△540,358	△269,068
特別利益		
投資有価証券売却益	245,372	—
固定資産売却益	472	583
貸倒引当金戻入額	—	100
特別利益合計	245,844	683
特別損失		
減損損失	1,217,979	—
固定資産売却損	698	—
固定資産除却損	15,168	7,201
投資有価証券評価損	1,259	168
特別損失合計	1,235,106	7,369
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,529,620	△275,753
法人税、住民税及び事業税	24,958	30,234
法人税等調整額	382,463	1,927
法人税等合計	407,421	32,162
少数株主利益又は少数株主損失(△)	44	△191
四半期純損失(△)	△1,937,086	△307,725

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,529,620	△275,753
減価償却費	535,704	466,166
開業費償却額	2,557	2,241
減損損失	1,217,979	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	53	△100
賞与引当金の増減額(△は減少)	△48,710	56,825
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,223	△671
受取利息及び受取配当金	△10,537	△6,096
支払利息	14,834	18,364
固定資産売却損益(△は益)	225	△583
固定資産除却損	15,168	7,201
投資有価証券売却損益(△は益)	△245,372	—
投資有価証券評価損益(△は益)	1,259	168
売上債権の増減額(△は増加)	45,286	308,028
未払金の増減額(△は減少)	△156,502	△245,087
たな卸資産の増減額(△は増加)	△199,562	84,187
仕入債務の増減額(△は減少)	38,653	△179,386
未払消費税等の増減額(△は減少)	△56,247	131,286
その他	10,873	△8,551
小計	△355,730	358,240
利息及び配当金の受取額	9,880	6,047
利息の支払額	△15,649	△17,840
法人税等の支払額	△19,192	△19,158
営業活動によるキャッシュ・フロー	△380,692	327,289
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,000	—
定期預金の払戻による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△758,084	△102,733
有形固定資産の売却による収入	4,894	852
無形固定資産の取得による支出	△45,788	△41,470
投資有価証券の取得による支出	△1,900	△2,019
投資有価証券の売却による収入	311,006	—
貸付けによる支出	—	△1,000
貸付金の回収による収入	9,389	6,177
その他	△180	△981
投資活動によるキャッシュ・フロー	△480,665	△141,174

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	540,000	—
短期借入金の返済による支出	△40,000	—
短期借入金の増減額(△は減少)	—	△940,948
長期借入れによる収入	—	700,000
長期借入金の返済による支出	△195,260	△193,356
セール・アンド・リースバック取引による収入	—	300,000
リース債務の返済による支出	△62,623	△55,130
自己株式の取得による支出	△1,449	△1,191
配当金の支払額	△72,921	△45,258
財務活動によるキャッシュ・フロー	167,745	△235,884
現金及び現金同等物に係る換算差額	△379	256
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△693,991	△49,512
現金及び現金同等物の期首残高	1,581,947	1,157,620
現金及び現金同等物の四半期末残高	887,955	1,108,107

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (5) セグメント情報
該当事項はありません。
- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。